

患者申出療養「BRAF V600 変異陽性局所進行・転移性小児固形腫瘍に対するダ
ブラフェニブ・トラメチニブの第 II 相試験」に係る中間報告について

- 第 36 回患者申出療養評価会議における本技術の承認に際して、単施設での計画となっているが、予定症例数を確保するとともに、患者の利便性を向上させるため、早急に多施設共同研究に変更するべきであるとのご意見があり、半年経過時点での実施状況及び多施設共同研究へ変更手続きの状況を報告させるべきとの指摘があったところ。
- これについて事務局より北海道大学病院へ照会を行い、別紙の通り回答を得たためご確認頂きたい。